

農場におけるベストプラクティス



ネズミ対策



ROSS
An Aviagen Brand



農場におけるベストプラクティス ネズミ対策

はじめに

- 1 ネズミは鶏群を汚染する病気を伝播します。しかし、食糧や巣作りに適した場所が豊富なことから、農場のネズミを防除することは困難です。農場の設計、鶏舎の周囲に草やごみがないようにすること、飼料と敷料を適切に保管すること、そして、包括的な害獣管理プログラムがネズミの蔓延を防ぐにあたって重要な要因です。農場のネズミを防除、あるいはその数をコントロールするための最良のプログラムは、生物学的（食糧や残渣、巣作り場所の除去）、機械的（罠）、そして化学的（毒餌）コントロールの活用です。

ネズミ対策のベストプラクティス

- 1 ネズミ対策には、以下のようなテクニックを含む、包括的な害獣管理プログラムが必要です。
 - 防鼠構造の農場と鶏舎
 - 巣を作る場所と食糧の除去
 - 現在いるネズミ数を減らす、あるいは撲滅すること
 - そして再び侵入することを防ぐこと
- 2 農場のネズミを効果的にコントロールするためには、コントロール戦略は継続的に実施されなければなりません。



ネズミ対策の重要性

- 1 ネズミは病原体を隠し持ち、持ち運びます。ネズミは病気を起こす原因を足や体につけて運ぶことで機械的キャリアの役割を果たし、以下のような家禽疾病を鶏舎に持ち込みます。
 - 大腸菌
 - サルモネラ
 - カンピロバクター
 - マイコプラズマ
 - ニューカッスル病ウイルス
 - 鶏ニューモウイルス
 - トリサシダニ
 - 消化管寄生虫
- 2 ネズミは飼料を食べ、汚染します。100匹のネズミは、1年間でおおよそ1トンの飼料を消費し、その10倍の量の飼料を糞尿や毛で汚染します。
- 3 ネズミは、断熱材に穴を掘ったり木材や電気の配線を齧ったりすることで鶏舎の建築物を傷め、火事のリスク要因となります。



農場の設計とメンテナンス

1 建物の適切な建築とメンテナンスは、ネズミが鶏舎へと侵入することを防ぐ助けになります。

- 農場の敷地には、裾に30 cmの高さで金属板をつけた全周フェンスを設け、敷地内へのネズミの侵入を阻みます。
- ネズミが鶏舎の地下に巣食うのを防ぐために、コンクリートの基礎を地下50 cmまで延長し、鶏舎の外側20 cmをコンクリートの犬走りにします。
- 鶏舎の入り口は地面に直接接触しないようにし、すべての扉がきっちりハマっており、扉を閉めたときに隙間ができないようにします。
- ネズミが入れる箇所がないか、定期的に建物を点検します。
- 農場周囲15 m、および鶏舎間1 mの範囲の植生を除去します。ネズミを寄せ付けないために、除草した範囲に砂利を敷き詰めます。
- 機器や敷料、建材を周辺に放置してはなりません。
- すべての飼料はネズミが入れない飼料タンク、蓋のある容器あるいは金属のホッパーに保管します。
- えさこぼれはできるだけ早くきれいにします。
- 鶏舎外の容器に雨水がたまらないようにすることで、水源を絶ちます。
- 死鳥は、地域の法律に則った方法でただちに処分します



1

ネズミを寄せ付けないために鶏舎間1mの範囲に砂利を敷き詰める



1

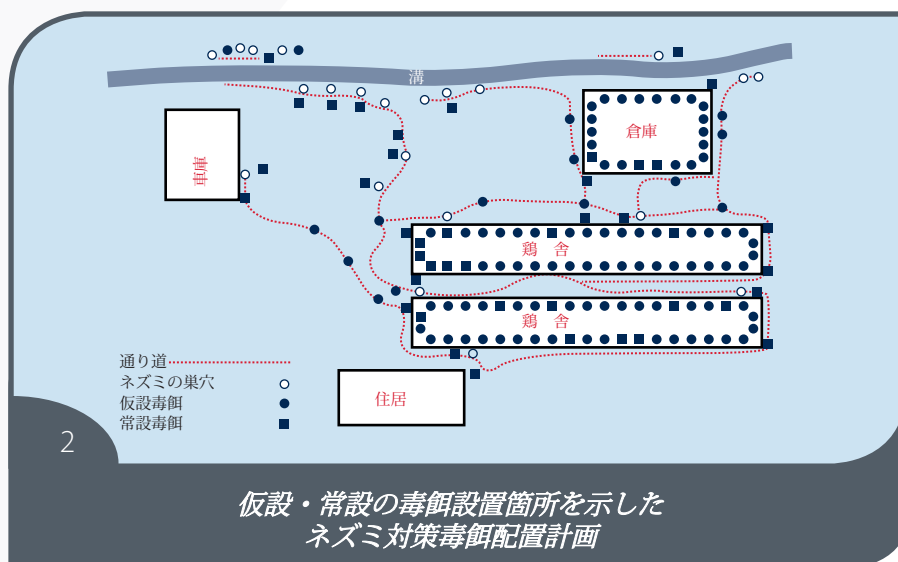
鶏舎の最低でも外側20 cmをコンクリートの犬走りにします。



農場におけるベストプラクティス ネズミ対策

毒餌プラン

- 1 トリが農場で餌付けされる以前に効果的な毒餌プランを開始し、ベイトステーションのチェックとネズミの行動観察を、鶏群の生涯を通して記録します。
- 2 仮設と常設の毒餌配置、そしておよそのネズミの生息数を割り出し、どのネズミ対策方法が最も効果的かを判断します。



- 3 バネ式罠あるいは箱型罠は、少数のネズミを排除するのに非常に効果的です。これらの罠は、毒餌配置図にしたがって設置します。
 - わなは壁の近く、物陰、暗い隅あるいは糞や齧り痕が見られる場所に置きます。
 - 日々わなにネズミがかかっているかチェックします。



4

常設ベイトステーションは、ネズミの活動が多いところで有効です。

- 鶏舎の内外の壁沿いと屋根裏に設置します（毒餌配置図を参照）。
- 15 – 23 m、最大30 mの間隔で設置します。入り口の扉から両側2 mの場所にも設置します。
- 毒餌を設置するときは、安全のため、また、人間の臭いがつくのを防ぐために、手袋を着用します。
- 毒餌は、毒と誘因成分が有効になるように、最低4ヶ月に1度は交換します。
- 1年に1度はベイトステーションを高圧水洗します。中に生き物（ネズミやへびなど）が入っていないことを確かめるために、蓋を開ける前に軽く叩くといいでしょう。



4

ベイトステーションは外壁
のそばに設置



農場におけるベストプラクティス ネズミ対策

農場にネズミがいる証拠

- 1 以下に示すサインが見られたら、農場にネズミが住み着いていると考えられます。

音 - 壁の中で齧る、登る、引っかく音がする、あるいは鳴き声が聞こえる

糞 - 壁沿いや物陰、食糧の近くで見られる

尿 - 紫外線ライトを当てると尿のシミが青白く見える

巣穴 - ネズミの巣穴は、基礎や床板に沿って、あるいは壁の空間に向かって掘られた新しい穴として見つかる

通り道 - 壁沿いや保管されている物の陰のホコリがない部分を見つける

齧り痕 - 壁や床板のまわりの木屑、ゴミ箱や卵パック

ネズミの臭い - しつこいジャコウ臭は住み着きのサイン

眼で見る - 強い光で舍内を照らすと、ネズミの目が光を反射する

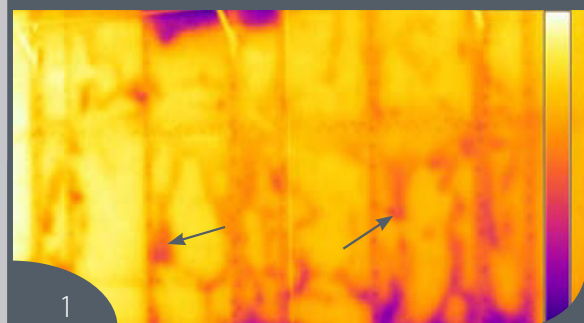
汚れ痕 - パイプや垂木に見られ、毛皮から出た汚れと脂で光沢のある膜が残る

- 2 ネズミ対策と毒餌計画を調整するために、ネズミの生息数を見極める。

- サインはあっても全くネズミが見られない場合、生息数は少なく、1～100頭でしょう。
- 夜間にたまにネズミを見かけることがある場合、生息数は100～500頭でしょう。
- 昼間が時々、夜間は数多くネズミが発見される場合、生息数は400～1,000頭でしょう。
- 昼間でも数頭のネズミを見かける場合は、5,000頭以上のネズミがいると考えられます。



糞



壁をサーモグラフィーで見た巣穴



鶏舎基礎の巣穴



生きているネズミを目撃



ネズミ対策のモニタリングと害獣駆除業者

- 1 効果的なネズミ対策プログラムを実装すれば、農場に現在いるネズミの数が減るか、全くなくなります。新たなネズミの侵入を見つけるために、ベイトステーションと環境の定期的なモニタリングと調査を継続しましょう。
- 2 ネズミの数が思ったように減らない場合は、プロの害獣駆除会社に相談しましょう。

Every attempt has been made to ensure the accuracy and relevance of the information presented. However, Aviagen® accepts no liability for the consequences of using the information for the management of chickens.

For further information on the management of Ross® stock, please contact your local Ross representative.

Aviagen, the Aviagen logo, Ross and the Ross logo are registered trademarks of Aviagen in the US and other countries. All other trademarks or brands are registered by their respective owners.
© 2018 Aviagen.

www.aviagen.com



0218-AVNR-060